

ほうりのしま 祝の島

瀬瀬あや監督作品
シチリア環境映画祭ドキュメンタリー部門 最優秀賞受賞

5月19日(土)

1回目上映 13:00~14:45
監督トーク 15:00~16:30
2回目上映 16:40~18:25

早稲田奉仕園内
スコットホールギャラリー

山口県祝島。36年間原発建設反対を訴え続けている人々がいる。

映画「祝の島」は自然とともにある人々と島の暮らしを丁寧に見つめ、対岸に建設されようとしている原発が人間の分を見誤った文明がいかに浅はかで愚かな産物であるかを映し出している。

瀬瀬監督には「祝の島」撮影のエピソードとともに、祝島の今を語っていただきます。

また、トークの中で最新作の「石風呂」(ダイジェスト版 約5分)も上映します。自然の中で循環する暮らしの営みそのものである「石風呂」が消えゆく今、私たちに伝えるメッセージについてもお話を伺いたいと思います。

また、トークの中で最新作の「石風呂」(ダイジェスト版 約5分)も上映します。自然の中で循環する暮らしの営みそのものである「石風呂」が消えゆく今、私たちに伝えるメッセージについてもお話を伺いたいと思います。



監督プロフィール: 瀬瀬(はなぶさ)あやさん

東京生まれ。自由学園卒業。'10年に上関原子力発電所に反対し続ける島民の暮らしを映し撮った映画『祝の島(ほうりのしま)』を初監督。シチリア環境映像祭で最優秀賞受賞。大阪貝塚市の北出精肉店の家族の暮らしを描いた二作目『ある精肉店のはなし』(2013年)は平成26年度文化庁映画賞文化記録映画部門大賞。現在は、日本の移り行く時代の中で、庶民の生活誌を映像に撮り続けている。

参加費:1,000円 学生:500円(映画1回とトークイベント込み) 定員30名

今後のSTUDY HALLの予定

6月22日(金) 19:00~20:30 「町を歩いて本のなかへ~早稲田から一箱古本市へ~」
南陀楼綾繁さん(エッセイスト) 参加費1,000円、学生500円

7月20日(金) 19:00~20:30 「韓国キャンドル革命はどのように起こったのか
~市民の声が政治を変えるということ」(仮)
李 泳采さん(恵泉女子大学) 参加費1,000円、学生無料

お申込み
お問合せは
裏面を参照